**CUDH　アルﾃｨメット　ダブルハング　ジャムキャリアー破損時の、補強対策**

[**jamblinerreinforce**](#_top)

**※　破損時の状態　　ｻｯｼの上げ下げ**ができない**（ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ上部肩の破損）**

工具　1.　刃巾50ﾐﾘ程度の腰の強いｽｸﾚｰﾊﾟｰ　 2.　ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ　3.　ﾌﾟﾗｽ ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ

4.　ﾌﾟﾗｲﾔｰ　　5.　ﾆｯﾊﾟｰ(ﾗｼﾞｵ ﾍﾟﾝﾁ) 6.　ｶｯﾀｰﾅｲﾌ 　　 7.　防護ﾒｶﾞﾈ

8.　 手袋（綿の薄手の手袋）　　　　 9.　小さな釘抜き

注意!!　（WUDHの場合）

　　　　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰを外す際に、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ下方に取り付けられている木製ﾌｨﾗｰを、損傷さ

せる可能性があります。　予め、交換品を用意して下さい。　ﾌｨﾗｰNo　W2018

事前に用意する補強部材の内訳とﾊﾟｰﾂNo

1. 2枚組のｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ　ｶﾞｽｹｯﾄ　 No　10500510
2. 23ﾐﾘねじ　ｘ　2　　　　　 No　11800727
3. ﾊｰﾄﾞｳｴｱｰ　ｸﾘｯﾌﾟ　ｘ　2　　 No　11860044
4. ｸﾗｯﾁ　ﾎﾟｹｯﾄ　ﾌﾟﾗｸﾞ　ｘ　2　 No　10500504
5. ﾁｪｯｸﾚｰﾙ　ﾊﾟｯﾄﾞ　ｘ　2　BG　　No　10500508

**Ⅰ　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの取り外し**

1.　別掲の、“CUDH　ｱﾙﾃｨﾒｯﾄ ﾀﾞﾌﾞﾙ ﾊﾝｸﾞ窓の、自然落下復旧方法“を参考にして、

ﾎﾞﾄﾑ、ﾄｯﾌﾟの、両ｻｯｼを取外します。

2.　ｻｯｼを外すと、左右のｸﾗｯﾁは、ﾛｯｸされた状態で

ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの溝の中に残ります。　図　1　参照。　**ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ**

警告!! 以下の3.の作業は、危険が伴います。

注意!!　 必ず、防護ﾒｶﾞﾈを着用して下さい。

**“　ｸﾗｯﾁのﾛｯｸが外されると同時に　”、**内蔵されている

**ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞの力**で、**ｸﾗｯﾁが急激に**上方へ**引き上げ**られます。

この、**引き上げる**ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞの力に**負けない**よう、**又、**ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの**刃先**をｶﾑの

**溝から外さない**よう、**ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ**を**両手でしっかりと水平に保持**し、下方へ**押し**

**付け気味**にしながら、**ゆっくり**と**刃先を90度回転**させて、ﾛｯｸを**外し**ます。

****

**3.**ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰを使い、ｸﾗｯﾁのﾛｯｸを外します。（図 2 参照）

この際、ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰを水平にして両手で握り、　　　**ﾊﾞﾗﾝｽﾁｭｰﾌﾞ下端**

ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの刃先を、ｸﾗｯﾁの丸いｶﾑの溝に差込みます。　**※ｸﾗｯﾁ移動先**

このまま**両手**でﾄﾞﾗｲﾊﾞｰを**しっかりと握り**、**下方**に**押し気味**

**としながら**、左右いずれかの方向へ90度、刃先を**ゆっくりと**

**回転**させて、**ﾛｯｸ**を外します。　次に、このままゆっくりと、

ｸﾗｯﾁを上方のﾊ**ﾞﾗﾝｽﾁｭｰﾌﾞの下端**まで**移動**させます。

　　4.　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの中間に設置された、ﾁｪｯｸﾚｰﾙ　ﾊﾟｯﾄﾞを、　**ﾁｪｯｸ ﾚｰﾙ ﾊﾟｯﾄﾞ**

ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの刃先で、こねあげて取外します。

図　3　参照。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 3

5.　ﾍｯﾄﾞｼﾞｬﾑ　ﾊﾟｰﾃｨﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟに、ﾌﾟﾗｲﾊﾞｰを差し込んで、

こねて外します。（又は平刃のｽｸﾚｰﾊﾟｰ）

塗料の塗膜のために、ﾊﾟｰﾃｨﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟが外れにくい事が **ﾍｯﾄﾞｼﾞｬﾑ　ﾊﾟｰﾃｨﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ**

あります。 この場合は、ﾊﾟｰﾃｨﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟと上枠との

接続面へ、軽くｶｯﾀｰﾅｲﾌの刃先を当てて、塗膜を切断

します。

次いで、このﾊﾟｰﾃｨﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟを両手で掴み、下方へ

引き下げ気味にしながら、屋内外へ軽くゆすります。

場合によっては、このまま下方へ引き抜くことが

できます。　困難な場合は、上方にできた隙間を利用

して刃巾の広いｽｸﾚｰﾊﾟｰ（50ﾐﾘ程度の腰の強い）で、

こねて取り外します。　図　4　参照

6.　室内側から、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの最下端の、屋外寄りの溝に、

両手の指先を掛けて、室内側に引き起こすように、

強い力で下方から順番に引き剥がします。

　　 〇画像　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ横　断面図　参照。



注意!!　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの素材は、塩ビ樹脂製で弾力があり、ねじれるような変形に

対しても、破損する恐れはありません。

注意!!　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの下端が、ｱﾙﾐ下枠に当り、堅くて動かない時は、縦方向の、ｱﾙﾐ縦枠下端とｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの間にｽｸﾚｰﾊﾟｰを差込み、こねあげて、外します。

注意!!　それでもｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの引き起しができない場合、その下方下部ﾌｨﾗｰを取外し、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰを変形し易くします。　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ中間の空洞へ釘抜きの先端を

差込み、こねあげて、ﾌｨﾗｰを**ゆっくり**取外します。　　　　　　**下方ﾌｨﾗｰ**

**木製ｱﾙﾃｨﾒｯﾄ ﾀﾞﾌﾞﾙﾊﾝｸﾞ**場合、この**木製ﾌｨﾗｰの破損**の恐れが

あります。交換品の準備が必要です。　図5参照。　　　　5

**Ⅱ****破損したｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの上端へ、補強金物の取り付け**

1.　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの上端へ貼り付けられている、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ

ｶﾞｽｹｯﾄを丁寧に引き剥がします。

2本のﾊﾞﾗﾝｽﾁｭｰﾌﾞを、80ﾐﾘほど、上方へ引き出し、

現れたS状のﾌｯｸを取外します。　　　　　　**ﾊﾞﾗﾝｽﾁｭｰﾌﾞ**

図　7　参照。

2.　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰに設置された、**下方**の**ｽﾎﾟﾝｼﾞ状**の**気密材**の

**上端**を、ﾌﾟﾗｲﾔｰで**深くしっかり**と**挟み**、**破損させない**

ように**ゆっくり**と引き上げて、100ﾐﾘほど、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ

から浮かせます。　次に、上部の木製ﾌｨﾗｰを80ﾐﾘほど、

**下方**へ押し下げます。　**図　8**　参照。

3.　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰを裏返し、その上部差込み足を、40ﾐﾘほど

ﾆｯﾊﾟｰで切断し、除去します。　図　9　参照。

注意!!　交換用のｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰを注文した場合、予め、

この差込み足が切断されて出荷される場合も

あります。

4.　 ﾊﾝｶﾞｰｸﾘｯﾌﾟ金具を、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの上端へ

差し込みます。　図　10　参照。

5.　 ﾊﾞﾗﾝｽﾁｭｰﾌﾞの**ﾘﾍﾞｯﾄﾋﾟﾝ（横棒）**が、**ﾊﾝｶﾞｰｸﾘｯﾌﾟ**の**ﾌｯｸ**に

掛かるまで、ﾊﾞﾗﾝｽﾁｭｰﾌﾞを押し下げます。

図　11.　参照。

**ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ**の**上端から**のぞき見て、ﾊﾞﾗﾝｽﾁｭｰﾌﾞの**ﾘﾍﾞｯﾄ**

**ﾋﾟﾝ（横棒）**が、**ﾊﾝｶﾞｰｸﾘｯﾌﾟ**の**ﾌｯｸ**に、確実に掛かって

いるか、点検します。

もし、掛かっていなければ、ﾊﾞﾗﾝｽﾁｭｰﾌﾞを引き出して、やり直します。

**注意!!**　 ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ**上部の木製ﾌｨﾗｰ**は、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの上端から下がった位置のままに

しておきます。

6.　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ　ｶﾞｽｹｯﾄを、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの上端へ貼り

付けます。　図　6　参照。

　　　　　　　　　　　　　　　 6



7.　下方のｼﾞｬﾑ　ﾌｨﾗｰを、定位置に設置します。　　　　　　　12

（既に外してあれば、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ下方から、定位置まで

差し込みます。）　図　12　参照。

**Ⅲ　補強された、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ　の取り付け**



1.　組みあがったｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの**上端**を**先**に、**縦枠上部**へ

差し込みます。　縦枠に入り込んだｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ先端を、

片方の手で押さえながら、もう一方の片手で、上方

から下方へ、順番に強く叩きながら、ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ全体を

押し込みます。

2.　**ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ上端**に見えている、**ﾊﾝｶﾞｰｸﾘｯﾌﾟ金具**の

**ねじ穴**へ、23ﾐﾘの**ねじ**を差込み、**ねじ頭**が金具

の**表面と同じ位置に沈む**まで、**強く**ねじ込みます。

図　14　参照。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**15**

3.　木製ﾌｨﾗｰを上枠まで押し上げ、ﾁｪｯｸﾚｰﾙ　ﾊﾟｯﾄﾞを取り付けます。　図　15　参照。

4.　ﾎﾞﾄﾑｻｯｼ用のｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ溝の表面へ、下方から、左右

それぞれ120ﾐﾘの位置に、鉛筆で印をつけます。

ﾄｯﾌﾟｻｯｼ用の溝には同じく230ﾐﾘの位置で、印を

つけます。　画像　16　参照。　　　　　　 **16**

5.　ｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰの、それぞれの溝の**ｸﾗｯﾁ**に、ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの

**刃先**を差込み、ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰを、**両手でしっかりと水平の状態に握り**、そのまま

**下方**へ、先につけた**鉛筆の印**まで押し下げます。　**印**を**確認**したら、**ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ**を左右いずれの方向へ**90度**回転させ、ｸﾗｯﾁを**ﾛｯｸ**します。　ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの**刃先**を、

**ゆっくり上方**へ上げて、**ｶﾑ溝**から外します。

　 それぞれのｸﾗｯﾁで、同様な作業を繰り返します。

　 最後に、各ｻｯｼの**左右ｸﾗｯﾁの高さ**を、もう一度、**確認**します。

**注意!!**　ｸﾗｯﾁが**ﾛｯｸ**されると、ｸﾗｯﾁの中の**円形のｶﾑの溝**が、必ず**上向き**となります。

**注意!!**　ﾎﾞﾄﾑｻｯｼ、ﾄｯﾌﾟｻｯｼの、**左右ｸﾗｯﾁの高さ**は、**3ﾐﾘ以内の誤差**で設置され

なければいけません。

これ以上の誤差がある場合には、ｻｯｼを正確に組み付けることができません。　　**誤差が大きい場合**は必ず、左右のｸﾗｯﾁの高さを、誤差以内に**設置し直して**

下さい。

**注意!!**　ﾄｯﾌﾟｻｯｼ用のｼﾞｬﾑｷｬﾘｱｰ溝の下端へ、**ｻｯｼ下がり制限ｽﾄｯﾊﾟｰ**が内蔵されている

場合は、この**ｽﾄｯﾊﾟｰ位置**までｸﾗｯﾁを押し下げて、高さを合わせます。

**Ⅳ.　上下ｻｯｼの取付け**

**1.** 別掲の、“CUDH　ｱﾙﾃｨﾒｯﾄ ﾀﾞﾌﾞﾙ ﾊﾝｸﾞ窓の、自然落下復旧方法“を参考にして、

**ﾄｯﾌﾟｻｯｼ**、ﾎﾞﾄﾑｻｯｼの順で取り付けます。

**開閉**の状態を点検します。

開閉が**重い**場合は、ｻｯｼの**摺動する**部分へ、**ｼﾘｺﾝｽﾌﾟﾚｰ**を吹き掛け、摩擦を**軽減**

させます。 3/24/2016